

中央区 区ビジョン基本方針

区の概要

《地理》

中央区は放射状に伸びる交通軸の要に位置し、北は日本海に開け、中央には信濃川、東に栗ノ木川、西に関屋分水路、南に烏屋野潟という自然に囲まれた地域です。区内は土地の高度利用が進み、さまざまな都市機能が集積する一方で、国の重要文化財に指定された萬代橋やみなとまちの歴史的建造物など、伝統文化を感じることもできるまち並みも存在しています。

《産業》

古町、万代、新潟駅周辺に代表される市街地の商業集積が賑わいを見せ、ヒト・モノ・情報が活発に行き交う、本市の商業の中心となっています。また、江戸時代初めから北前船で技術が交流し磨き育てられた伝統的工芸品の新潟漆器の生産も有名です。

《交通》

主要な道路は、国道7号、国道8号、国道116号などのほか、県道、市道が、中心市街地に向けて整備されています。鉄道は、3駅が設置されており、新潟駅には、上越新幹線のほか、在来線ではJR信越本線、JR白新線、JR越後線が集まっています。バスは、市中心部に向けて、また、郊外へ向けて多様な路線が運行されています。



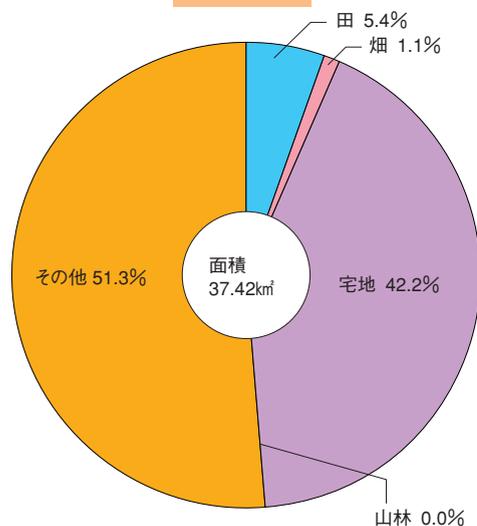
東北電力ビッグスワン

《基礎データ》

項目	中央区	
人口	総人口(人)	179,784
	男(人)	85,685
	女(人)	94,099
世帯数(世帯)	82,555	
農業	農家戸数(戸)	276
	農家人口(人)	1,502
	経営農地面積(a)	48,968
工業	事業所数(所)	194
	従業員数(人)	3,107
	製造品出荷額等(億円)	493
商業	商店数(店)	4,430
	従業員数(人)	33,066
	年間商品販売額(億円)	18,311

(出典) H17年国勢調査, H12世界農業センサス
H16年工業統計調査, H14商業統計調査

土地利用



※その他：道路、公共施設、水面、自然地など
(H19.1.1新潟市調べ)

区の将来像

都心が賑わい、人々が集い交流する水辺のまち

区の担う役割

- 商業業務や教育，交通，医療，行政など，さまざまな都市機能が集積する区として，本市の力を押し上げ，豊かな市民生活を生み出す役割を担います。
- 本市の陸の玄関口である新潟駅を中心として，国内外との交流の拠点としての役割を担います。
- 都心をもつ区として，職住近接の利便性の高い居住地としての役割を担います。

目指す区のすがた

《拠点のまち》

- 日本海側の拠点都市の核として，商業業務や教育，交通，医療，行政などのさまざまな都市機能がさらに集積するまちを目指します。
- 国内外の玄関口である新潟港，新潟駅や高い収容能力をもつ朱鷺メッセやビッグスワンを活用することにより，ヒト・モノ・情報が活発に行き交うまちを目指します。

《賑わいのまち》

- まちなかの緑化や美しい景観づくりに努めるとともに，商店街の活性化を図ることにより，出かけたくなるまち・歩いて暮らせるまちを目指します。



旧新潟税関庁舎

- 整備された社会基盤などを活かして，土地の高度利用や公共交通の利便性の向上などを図ることにより，まちなかへの回帰を促すなど職住近接型のまちを目指します。

《人にやさしい暮らしのまち》

- 進行する少子高齢社会の中で，都心の賑わいをもちながら，子どもからお年よりまで安心・安全に暮らすことのできるまちを目指します。

《都市がうるおう水辺のまち》

- 信濃川や鳥屋野潟，日本海の豊かな水辺や緑地を活かし，人々が集い，安らぐことができるまちを目指します。

《みなとのまち》

- 北前船の寄港地として，また開港5港の一つとして古くから栄えたみなとまちの文化などを受け継ぎ，多様な交流に培われた文化がかおるまちを目指します。

まちづくりに向けた施策の方向

(1) 都市機能の向上

① 新潟駅周辺整備及び連続立体交差事業の推進

新潟駅周辺において、鉄道在来線の高架化と併せて、骨格となる道路や駅前広場などを一体的に整備し、都市交通の円滑化や交通結節機能の強化を図ることにより、高齢者、障がい者など、すべての利用者にとって利便性が高く、政令市新潟の陸の玄関口にふさわしい魅力ある都市拠点を形成します。

② 鳥屋野潟南部開発計画の推進

鳥屋野潟南部を土地利用計画毎にゾーニングし、県立鳥屋野潟スポーツ公園や(仮称)食と花のにいがた交流センターなどの整備により、新たな拠点を形成します。

バス路線の新設など公共交通のアクセス強化により、鳥屋野潟南部地区への交通利便性の向上を図ります。

③ 美咲町地区の整備促進

広域的な行政・業務機能の集積地区として、本市の拠点性を高める新しい市街地の整備を促進するとともに、アクセス道路の整備を推進します。

(2) 水辺の魅力づくり

① 市民に愛される水辺空間の整備と活用

信濃川両岸の景観やウォーターフロントを活かした緑地の整備を進め、都市の魅力向上を図ります。

都市における貴重な自然空間である鳥屋野

潟は、水環境の改善に努め、身近に自然とふれあえる水辺空間を創出します。

港湾海岸の優れた景観や自然環境を活かし、海洋性レクリエーション需要に対応した、市民が楽しめる海浜エリアとして整備を図ります。

② 万代島賑わい空間の創造

みなとまち新潟の特性を活かし、新たな賑わいの空間を形成します。

(3) まちなかの再生

① 交通利便性の向上

利便性の高いバスなどの公共交通機関網の整備により、誰もが安全で快適に移動できるまちなかの交通環境の創出を図ります。

② 優良な住まいづくり

土地を高度に利用し、環境に配慮した優良建築物の整備など、まちなか回帰・居住に向けた活動の支援に努める一方で、長期経年マンションの再生や多様なニーズに対応する住宅供給を支援し、都心居住を促進します。

③ まちなかの活性化の推進

まちなかの活性化を図り、利便性向上とみなとまちの歴史を活かした、歩いて楽しいまちづくりを進めます。

④ 地域の特性を活かした優良な景観の形成

みなとまちとしての歴史が根付くまち並みにふさわしい景観の指針やルールづくりを進め、市民や事業者との協働により、美しいまち並みを形成します。

⑤地域のまちづくり

地域コミュニティの充実を支援し、住む人や訪れる人にやさしいまちづくりを進めます。

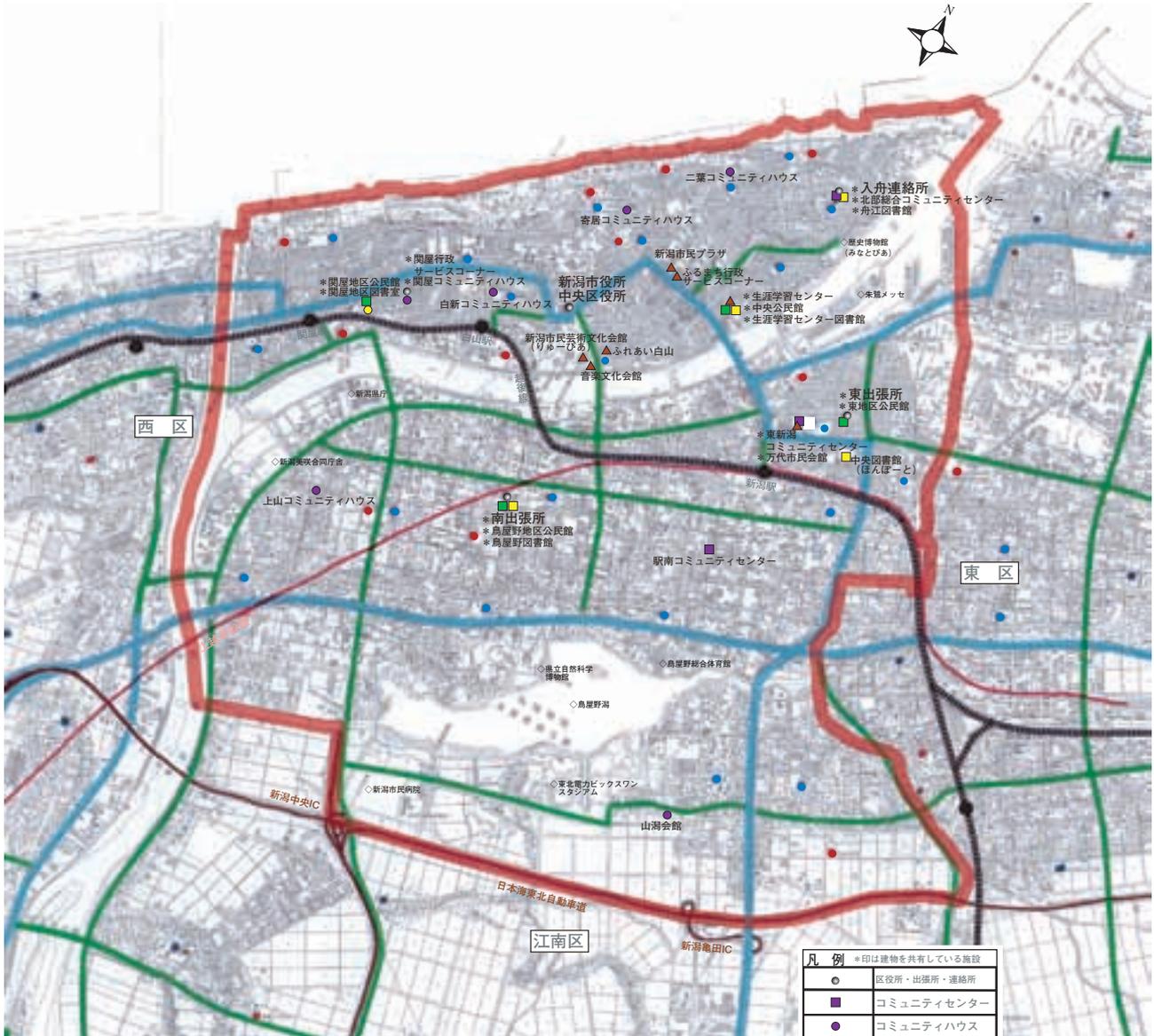


やすらぎ堤



りゅーとぴあ(新潟市民芸術文化会館)

◆ 区の概況図 ◆



凡例	
○	*印は建物を共有している施設
●	区役所・出張所・連絡所
■	コミュニティセンター
●	コミュニティハウス
■	地区公民館
■	地区公民館(分館)
■	図書館
●	地区図書室
▲	市民会館・コミュニティ施設等
●	中学校
●	小学校